

事務連絡
令和5年2月8日

国土交通省

北海道開発局 河川計画調査官 殿
地域事業管理官 殿
各地方整備局 河川計画課長 殿
地域河川課長 殿

内閣府

沖縄総合事務局 河川課長 殿
低潮線保全官 殿
林務水産課長 殿

林野庁

各森林管理局 治山課長 殿

国土交通省

水管理・国土保全局砂防部砂防計画課土砂災害防止技術推進官
水管理・国土保全局砂防部保全課土砂・洪水氾濫対策官

林野庁

森林整備部治山課施設設計画班担当課長補佐
施設実行班担当課長補佐
国有林野部業務課治山班担当課長補佐

流域治水の考え方に基づいた流域流木対策の推進のための取組について

流域治水の考え方に基づいた流域流木対策については「流域治水の考え方に基づいた流域流木対策の推進について」（令和4年1月27日付事務連絡）で定めた「流域流木対策実施要領」（以下「R4要領」という）に基づき実施して頂いているところですが、流域流木対策をより一層推進するため下記について取り組まれたい。

なお、本事務連絡は各都道府県の砂防事業担当課長および治山事業担当課長にも送付しており、協力を求めているところです。

記

(1) R4要領に基づく対策への移行

対策をより効果的・効率的に推進するため、「「総合的な流木災害防止対策」について」（平成18年12月11日付事務連絡）で定めた「総合的な流木災害防止対策要領」（以下「H18要領」という）に基づく対策についても、R4要領の3の実施内容が可能な場合は、両事業の連携の高度化を踏まえ、R4要領に基づく対策に移行することを積極的に検討してください。

(2) 流域治水プロジェクトへの反映

流域流木対策は、流域治水の各種施策の中でも流域上流部における重要な取組であり、流域治水協議会の構成員等に取組の内容を周知し理解していただくことが重要です。つきましては、流域治水協議会が設置されている流域においては、次の取組について当該流域における流域治水協議会に報告し、当該流域の流域治水プロジェクトに反映させてください。

- ① H18要領に基づく対策
- ② R4要領に基づく対策（技術開発等に向けた試行的な取組等を含む）

(3) 連携の強化

R4要領に基づく対策には、高度な技術的検討に基づく事業計画の策定が必要となるため、各地域での事業推進に当たっては、林務部局と砂防部局の事業内容に係る相互の理解と緊密な連携が重要となります。

このため、次の取組について実施可能なものから順次着手することとしてください。また、実施した取組については、必要に応じて当該流域における流域治水協議会に報告し、同協議会の議論を経て有効と考えられるものについては当該流域の流域治水プロジェクトへの反映も検討してください。

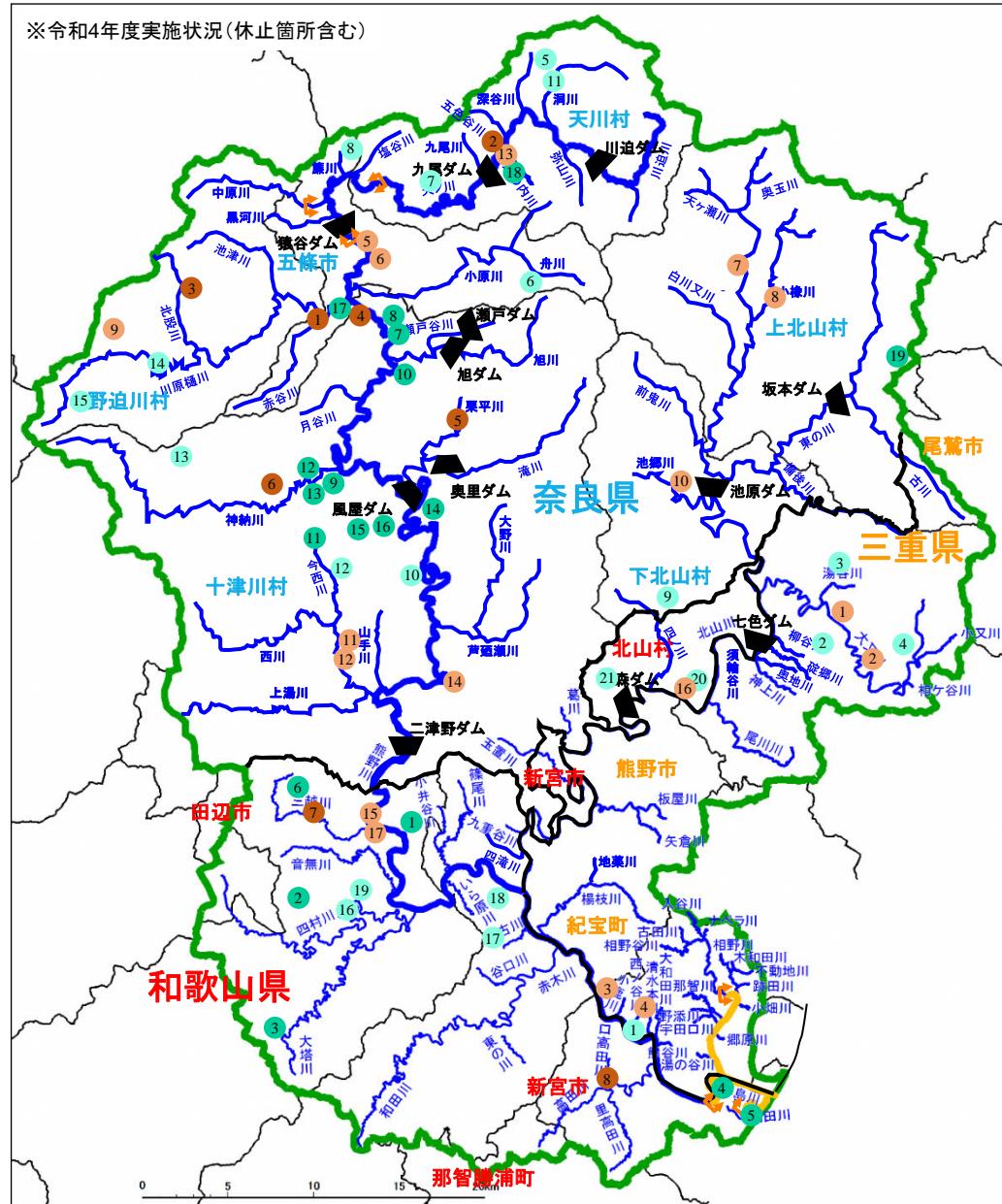
- ① 現場視察や勉強会の共催等による相互の事業内容に係る理解の醸成
- ② 地域住民等への防災教育・啓発、その他広報に関する共同の取組
- ③ 自治体が参画する検討会等の共催
- ④ その他、林務部局と砂防部局の円滑な連携や関係者との丁寧な情報共有を図るために有用と考えられる取組

以上

新宮川水系流域治水プロジェクトにおける治山事業・砂防事業の実施状況

新宮川水系 資料3-2

- 新宮川水系流域治水プロジェクトにおいて、「氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策」として治山事業（国・県）・砂防事業（国・県）に取り組んでいます。
 - 近年の災害では流木による被害が顕著であることを踏まえ、特に流木対策について重点的に取り組んでいます。



新宮川水系流域治水プロジェクトにおける治山事業・砂防事業の実施事例

新宮川水系

